

6時間じゆきようは長いなあ
土星をあらわす
土曜日
やりたいことがたくさんだ

一日一日は
それぞれ 違う日
いろんなことが
待ってるよ

《佳作》

鶴喜小学校3年生 本山 たい地

ことわざ

口はわざわいの元。
じ書のふくろの紙に書いてあった。
どんな意味かなと思って、学童の先生
に聞いたら、パソコンでいっしょに調べ
てくれた。出てきた意味を見て、何も考
えずに話していたら、けんかにつながる
なと思った。

学童では一週間に三回くらい、色んな
けんかやもめごとがおきる。ほくが関係
している時もあるし、ぜんぜん関係ない
ときもある。

まずは自分から、よく考えて話すよう
にしてみよう。

みんなが考えてから話すようにすれば、
学童や学校でけんかがへって、みんな仲
良く、平和にくらせると思う。

ことわざは、さいしょに読んだだけで
は、何のことかさっぱりわからないけど、
調べてみると、色んな意味がかかれてい
る。おもしろいな。どんな調べてみたい。

《中学生の部
入選》

津山中学校3年生 竹原 美桜

あなたはいつも歌っている

夜が来ると 静かに眠り
朝が来るのを待っている
一緒に歌っていた 蝉も蛙も寝静まり

梟の独唱だけが響く闇

今日もまた 朝がやってきて歌い始める

歌を聞いた人は皆 揃って動き出す
あるときは 机に向かい
あるときは 外へ向かって走り出す

でも 今日からは
朝になっても歌わない
しばらくお休み

それでも 必ずまた歌い始める
子どもたちが集まる日
校舎は響かせる
明るい チャイムの歌声を

《佳作》

津山中学校3年生

本山 水晴

夏の夢

ひらひらと
色とりどりの袖風にそよぐ
からころと
下駄を弾ませあなたへ駆ける
心も弾む非日常

張り上げる呼び声漂う熱
おいしそうな匂いに引かれてく
並ぶ時間すら今日は特別

どどうんと
重低音がお腹を揺らす
ざわめき止んで花開く
夜空に咲いた光の花
きれいだねとあなたと二人

さらさらと
全てが輝く半日の夢
忘れられない夏の夢

第二十七回 香々美川
文芸選奨入賞作品

短歌部門

《大賞》

鏡野町 中江 照子

◎ 昼さがり夏陽を受けて山の木は
緑の焰立ち上らせる

《香々美川賞》

大阪府吹田市 勝間 恵子

◎ 西空にまだらをえがくうろこ雲
色あせ浮ぶ月をいだきぬ

《優秀賞》

奈良県宇陀市 牛久保 亮子

◎ 川に張る厚き氷が告げいるか
土手のふきのとう芽吹きはまだと

《奨励賞》

鏡野町 前原 治子

◎ 真つすぐに足を伸ばして白鷺は
吉井川めざしてわが頭上飛ぶ

《宇佐見賞》

津山市 矢野 康史

◎ 対をなし絡まり咲ける振摺を見つけし
今朝の散歩の果報

俳句部門

《大賞》

津山市 安藤 亮

◎ 歪みをりカーブミラーの中の秋

《香々美川賞》

倉敷市 洪谷 邦子

◎ 川底に落ちておちつく櫟の実

《優秀賞》

津山市 山田 志津子

◎ 夏兆す水照り返す千枚田

《奨励賞》

玉野市 立花 正

◎ 分水界ひらりと越ゆる揚羽かな

《宇佐見賞》

鏡野町 原 洋一

◎ 陽の匂ひ孕む稲穂の重さかな

川柳部門

《大賞》

鏡野町 本田 陸江

◎ 木漏れ日に憩いの椅子をふたつ置く

《香々美川賞》

津山市 杉山 武明

◎ 咲けば落つ紅き椿の香々美川

《優秀賞》

鏡野町 内田 恵子

◎ 鉤を置きゆうやけこやけの時報聞く

《奨励賞》

鏡野町 本田 睦江

◎ 青田風わたしに話す応援歌

《宇佐見賞》

岡山市 永見 咲子

◎ 戻りたい清流だったワタクシに

お問い合わせ先

鏡野町文化協会事務局
電話(0868)541-0573